

概要版

第7期中原区地域福祉計画

福祉のこころ、人と人との橋わたしで 支え合える地域づくり

同じ地域に暮らす人と人との絆を深めることによって、互いの違いを認め合い、健やかで安心して自立した生活が送れるように、人と人との出会いを橋わたしします。また、地域を拠点にしたさまざまな団体・個人の活動や行政情報を区民に橋わたしすることで、活力とうるおいがあり、区民が主体となったお互いに支え合える地域づくりをめざします。

一人ひとりができること

地域のみんでできること

自助

パンジー体操に
参加して
健康を維持します!

町内会・自治会に
加入します!

防災訓練に
参加します!

困っている
ことがあったら
伝えよう。

たとえば…/

ボランティア活動に
参加します!

ゴミ出しは
私たちに任せて!

困っている人を
みんなで支えよう。

互助

あなたの地区の
民生委員
児童委員です。

近所の人を誘って
子育てサロンに
行きます。

福祉のこころを
つないで橋わたし

共助

医療サービスを
提供します。

介護サービスを
提供します。

民生委員児童委員活動を
支援します。

ボランティアを養成
したり、活動を支援
したりします。

福祉サービスなどの
情報を発信します。

区民が気軽に相談
できるようにします。

公助

必要な支援やサービスを提供します

1 基本理念

福祉のこころ、人と人との橋わたして 支え合える地域づくり

2 基本目標・基本施策

基本目標 1

一人ひとりが主役の
地域づくり

基本施策

- 1 誰もが参加できる健康・いきがづくり
- 2 ボランティア・地域活動支援 ◀◀ 重点
- 3 地域で活動する仲間を増やす ◀◀ 重点
- 4 地域課題の解決に向けた支援の充実

地域福祉を区民と協働で進めるためには、地域で行われている取組を見たり知ったりする中で、地域への関心や地域づくりの意識を高めていくことが大切です。

また、さまざまな地域活動の主体となっている人たちを支えるとともに、中原区で生活する多様な人たちが互いを認め合い、助け合える環境が次世代につながるよう、活動する仲間を増やす取組を推進します。

基本目標 2

必要な支援やサービスが
的確に届けられる
仕組みづくり

基本施策

- 1 情報提供の充実 ◀◀ 重点
- 2 包括的な相談・支援機能の充実 ◀◀ 重点

地域福祉に関する情報を区民に届けるために、転入時や赤ちゃんが生まれた時など、機会を捉えた適切な情報発信をより充実させます。また、困りごとを抱える人には、早い段階からの相談支援を充実しながら、高齢者や障害のある人、外国人住民の人たちが適切な支援を受けられるように取り組みます。

基本目標 3

多様な主体が連携した
施策・活動の推進

基本施策

- 1 地域の見守り・支えあいの推進
- 2 保健・医療・福祉の連携
- 3 市民・事業者・行政の連携・協働
- 4 社会福祉協議会との連携・協働

様々な主体間のネットワークを充実させることで、情報共有や地域包括ケアへの理解を深めてもらうとともに、連携して地域福祉活動を推進していくための仕組みづくりに取り組みます。

基本目標 4

地域参加の
仕組みづくり

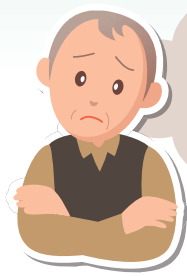
基本施策

- 1 活動・交流の場づくり
- 2 地域マネジメントと地域コミュニティの推進 ◀◀ 重点

区民の多様なニーズを受け止めながら、さまざまな地域資源をつなげることで、これまで地域活動に参加しづらいと感じていた人も気軽に参加できるような取組を引き続き進めます。また、区民が自分らしく、生活の質や生きがいを追求しながら日常生活を送れる地域の実現に向けて、関係機関と連携しながら地域活動の伴走支援を行います。

中原区地域福祉計画はこんな計画

中原区は7区で最も人口が多い区で、若い年代が多く、子どもの数も増えています。一方、ひとり暮らし高齢者も増加傾向で、障害のある人や外国人住民の数も増えています。「中原区地域福祉計画」は、区民が抱える生活課題に区民自らが主体となって取り組み、さらに地域全体で支援するための計画です。



ボランティアの人たちが高齢化してきた…



ご近所とはあいさつくらい…どんな人が住んでいるのかしら



ひとり暮らしだし、大きな災害があったらどうしよう…

策定にあたっては、各種調査データや中原区の現状・課題を踏まえ、各種団体の代表等による委員で構成された会議でご意見をお聞きしながら内容を検討しました。

① 各種統計調査から

- 1年間で約2万2千人の転入及び約2万千人の転出があり、人口の社会増が続いています。
- 人口増加に伴い高齢者人口も増加しています。高齢者の5人に1人以上はひとり暮らしという状況です。
- 外国人住民人口が平成30(2018)年から令和4(2022)年までの5年間で800人以上増えており、市内で2番目に外国人住民が多い区です。
- 児童相談所・区役所に寄せられる児童虐待相談や通告件数が増加傾向です。
- 人口、世帯数は増加していますが、町内会・自治会等の住民組織加入率は減少傾向が続いています。

② 川崎市地域福祉実態調査から

- 近所づきあいの程度は、「ほとんどつきあがない」が7区の中で最も高くなっています。
- 町内会・自治会に加入していない理由については、「不便を感じない・必要性を感じない」が37.0%と、市全体より4.2ポイント高くなっています。
- どのような状況になれば、地域活動やボランティアに参加したいと思うかについては、「きっかけがあれば」が最も高く、次いで「活動する時間があれば」となっています。
- 孤立死を防ぐためどのようなことが有効だと思うかについては、「地域住民による声かけ、見守り」が最も高くなっています。
- 保健や福祉に関する情報の入手方法については、「市の広報」が最も高く、次いで「インターネットのホームページ」となっています。

③ 地域で活動する方の意見(中原区地域福祉計画推進検討会議から)

- 高齢者や障害者の方は情報が取りにくい課題がある。民生委員や地域で気付いてくれた方がいればいいが、正しい情報がなければ動けない。
- 地域への愛着が生まれた人に担い手になってもらうためには段階があって、行政や地域の方も含め、どう背中を押していくか、知恵を絞っていく必要がある。
- 人の輪を作っていくためにも、一人ひとりをつなげていきたいが、昔と比べてつながりづらくなってしまっている。
- 気付いた人・動いた人の方が損だという社会、反対に何もしない方が得をする社会にしない、というのが多分、地域福祉で最も大事なことだと思う。



中原区ってこんなところ

中原区は川崎市のほぼ中央に位置し、自然に恵まれた平地の多い地域です。

近年では武蔵小杉駅周辺のタワーマンションの建設ラッシュなどにより、特に若い世代の人口が急増し、市内で最も人口が多い区となっています。

- ◆ 公的施設
- 地域包括支援センター
- 高齢者施設
- ▲ 障害者相談支援センター
- こども文化センター
- ◇ 地域子育て支援センター
- ★ その他



小杉地区

区役所や図書館などの公共施設があり、武蔵小杉駅周辺の高層マンションや商業施設と昔からの街並みが共存しているエリアです。また、自然、スポーツ、文化を楽しめる等々力緑地があります。

人口:53,431人
世帯数:27,452世帯
高齢化率:14.4%



丸子地区

多摩川に面したエリアで、「丸子の渡し」や平安時代に創建された「日枝神社」のお祭りなど、歴史的な文化に触れられる取組も行われています。

人口:29,553人
世帯数:18,029世帯
高齢化率:14.7%

大戸地区

地域活動に関わる組織が活発であるほか、子どもや若い世代が多いエリアです。また、平坦地で各地にアクセスしやすいのも特徴です。

人口:82,761人
世帯数:42,080世帯
高齢化率:15.6%



住吉地区

元住吉駅周辺には、「ブレーメン通り」、「オズ通り」といった市でも有数の商店街があります。また春の渋川や矢上川沿いは桜の名所となっています。

人口:61,233人
世帯数:33,360世帯
高齢化率:16.6%



玉川地区

平間公園や緑道など散歩ができる場所があります。また、上平間に移転した動物愛護施設「アニマモールかわさき」では、施設の一部を地域に貸し出しているなど、地域活動に活用できる場もあります。

人口:35,598人
世帯数:18,591世帯
高齢化率:17.9%



こんな取組を計画しています

基本目標 1

一人ひとりが主役の
地域づくり

- 「なかはらパンジー体操」で健康づくり・介護予防
- 「子育てサロン」で地域コミュニティを支え、広げる活動の推進
- 「認知症サポーターの養成」で認知症の方の安心できる生活を支援
- 「地域の防災活動の支援」で災害を地域で乗り越える など



「なかはらパンジー体操」で健康づくり



子育てサロン



認知症サポーター
養成講座



学校における総合防災訓練

基本目標 2

必要な支援やサービスが
的確に届けられる
仕組みづくり

- 「シニアのためのおでかけマップ」で健康維持増進
- 子育て世帯の孤立を防ぐ「子育て情報の発信」
- 各取組の包括的かつ効果的な周知と広報活動 など



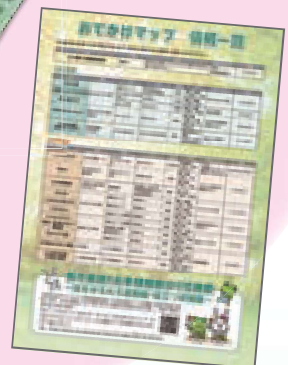
中原区子育てイメージキャラクター
「ミミ・ケロ」



子育て情報
ガイドブック



なかはら子ネット通信
「このゆびと〜まれ」



おでかけマップ

こんな取組を計画しています

基本目標 3

多様な主体が連携した
施策・活動の推進

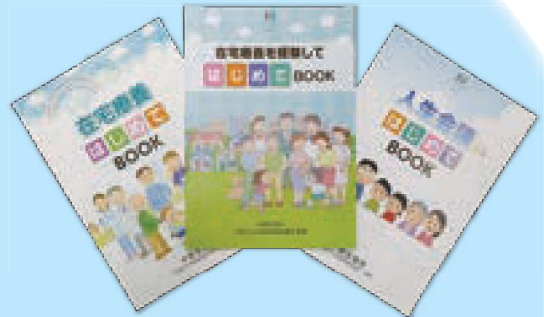
- 「川崎市地域見守りネットワーク」で異変のある住民を緊急支援
- 「中原区在宅療養推進協議会との連携」による在宅医療の普及啓発
- 身近な相談相手として住民を支える「民生委員児童委員の活動支援」
- 「中原区社会福祉協議会との連携」でおたがいさまのまちづくり など



中原区社会福祉協議会
PR大使「中原パルるん」



地域見守りネットワーク



中原区在宅療養協議会監修
「はじめてBOOK」シリーズ



中原区地域包括ケアシステム
ネットワーク会議

基本目標 4

地域参加の
仕組みづくり

- 公園緑地の愛護活動を通じた憩いの場づくり
- 地域包括ケアを推進する「地域マネジメントの推進」
- 「地域コミュニティの推進」で自分らしく暮らせる中原区へ など



なかはら
子ども未来フェスタ



なかはら
福祉健康まつり



ソーシャルデザインセンターの
YORIAI(定例会)



小学校と連携した公園の花壇

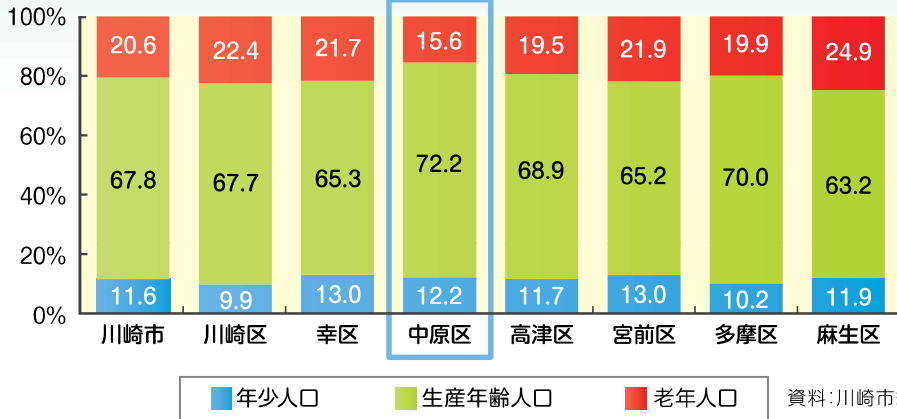


なかはらっぱまつり

データで見える中原区

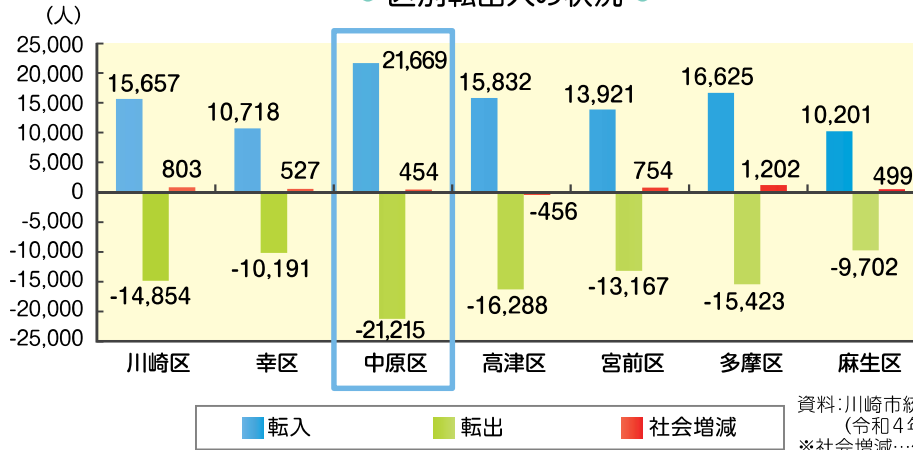
① 年少人口・生産年齢人口が多く、出生数・出生率も高い!

● 区別年齢3区分別人口割合(令和5年10月1日現在) ●



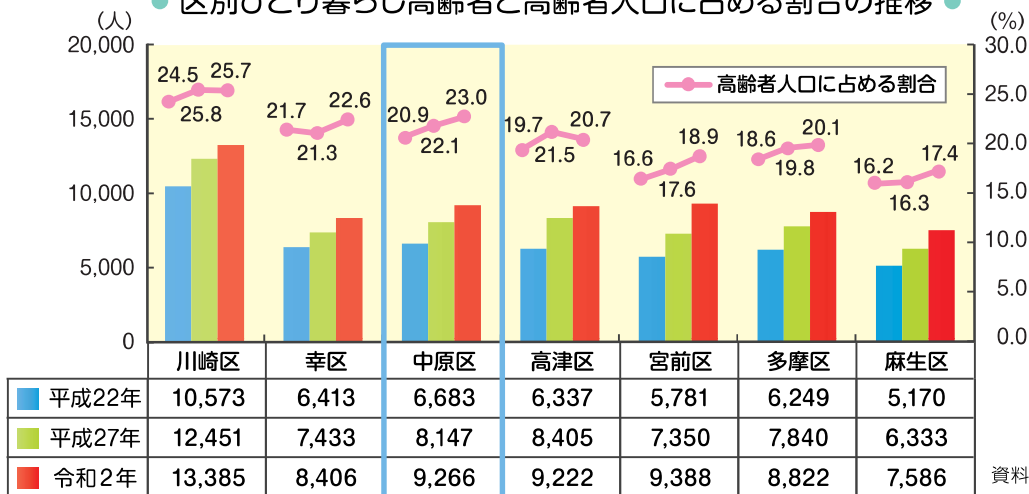
② 転出・転入の数がともに7区No1!

● 区別転出入の状況 ●



③ ひとり暮らし高齢者の増加も…

● 区別ひとり暮らし高齢者と高齢者人口に占める割合の推移 ●



発行/川崎市中原区役所地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課

〒211-8570 川崎市中原区小杉町3-245 電話/044-744-3239 FAX/044-744-3196
URL : <https://www.city.kawasaki.jp/nakahara/> 令和6(2024)年3月発行